

地域懇談会

Q & A 集



先月号（広報おけと12月号）に引き続き、平成26年度地域懇談会の主な内容を「質疑応答集」としてご紹介します。今回は、置戸地区、秋田地区の様相について掲載します。

置戸地区

●11月26日（水）●コミュニティホールほっほ●参加者23人

問 町内で空き家が目立つようになってきた。何か対策はないか。

答 現状では、所有者を調査したり、無断で敷地内に立ち入って検査したりすることはできない。空き家条例を制定して老朽化した空き家の解体を進めている自治体もあるが、条例を制定しても、実際はさほど課題解決に結びついていない現状もあると聞く。空き家条例の制定等については、慎重に検討していく必要がある。

問 町から各自治会へ交付されている助成金（コミュニティ活動助成金）を、増額してほしい。

答 高齢化の進展や防災対策等を踏まえ、増額する方向で検討する。

問 町道置戸市街裏通り線の舗装の凸凹を解消してほしい。

答 アスファルト舗装や縁石の補修などの対応を

検討する。

問 置戸橋から協生自治会への横断道路（町道協生通り線）付近まで、歩道を整備してほしい。

答 河川敷地のため難しい面もあるが、現場で関係者を交えて議論を深めたい。

問 町道南ヶ丘公園線の舗装の凸凹を解消してほしい。

答 全面修繕は難しいが、部分的に直すなどの対応を考えたい。

問 開町100周年を盛り上げるために、町民への更なる周知が必要ではないか。

答 事業内容が決定次第、積極的な周知活動を進めていく。

問 国道242号線沿いの北光パーキングから下鉾山付近までの雑木を処理してほしい。冬期間は日陰となり、路面が凍結し危険である。

答 当該箇所の町有林については、伐採を行う。国道敷地内の立木については、網走開発建設部と協議して進めていく。

問 今年度末で終了となる住宅改修奨励金交付事業について、延長を望む声があるのだが。

答 交付対象要件の見直し等を行った上で、延長する方向で検討したい。